

令和元年度下水道事業会計予算の概要

(1) 業務量

区 分 項 目	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
年間汚水処理量(百万m ³)	181.3	180.6	0.7	0.4
1日平均汚水処理量(万m ³)	49.7	49.5	0.2	0.4
年間汚水中継量(百万m ³)	25.8	25.3	0.5	2.0
年間雨水排除量(百万m ³)	13.4	14.8	▲ 1.4	▲ 9.5

資料5

(2) 財政規模 (税込額)

(単位:億円)

区 分 項 目	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
収益的支出	359.8	356.2	3.6	1.0
資本的支出	321.3	323.9	▲2.6	▲ 0.8
合 計	681.1	680.1	1.0	0.1

(3) 経営収支 (税抜額)

(単位:億円)

区 分 項 目	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	対前年度予算		主な増減理由	
			差 引	伸び率(%)		
収 益	下水道使用料	186.8	186.3	0.5	0.3	[注1]
	雨水処理補助金	38.6	37.9	0.7	1.8	
	長期前受金戻入	98.8	100.7	▲1.9	▲ 1.9	
	その他収益	10.6	10.6	0.0	0.0	
	特別利益	0.0	1.0	▲1.0	皆減	一般会計補助金カット返還分 [注2]
	合 計 (A)	334.8	336.5	▲1.7	▲ 0.5	
費 用	維持管理費	99.0	96.7	2.3	2.4	
	人 件 費	24.6	25.5	▲0.9	▲ 3.5	
	物 件 費	74.4	71.2	3.2	4.5	処理場費・業務費の増
	資 本 費	245.2	249.4	▲4.2	▲ 1.7	
	減価償却費等	220.1	222.2	▲2.1	▲ 0.9	
	支払利息	25.1	27.2	▲2.1	▲ 7.7	平均利率の減
	特別損失	5.8	0.3	5.5	1,833.3	施設撤去工事
合 計 (B)	350.0	346.4	3.6	1.0		
当年度損益(A)-(B)=(C)	▲ 15.2	▲ 9.9	▲5.3	—		
前年度末累積損益(D)	10.1	20.0	—	—		
当年度末累積損益(C)+(D)	▲5.1	10.1	—	—		

[注1] 「下水道使用料」には、民間社会福祉施設等の減免に対する他会計負担金を含む。

[注2] 平成30年度末で返還完了予定。(平成8~10年度カット額153億円)

(4) 資本的収支(税込額)

(単位:億円)

項 目	区 分	令和元年度 当初予算	平成30年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率(%)
収 入	企 業 債	125.4	112.4	13.0	11.6
	国 庫 支 出 金	47.9	43.5	4.4	10.1
	他 会 計 繰 入 金	3.4	4.7	▲1.3	▲27.7
	財 産 収 入	0.0	0.0	▲0.0	▲33.3
	基 金 繰 入 金	9.9	20.1	▲10.2	▲50.7
	雑 収 入	1.0	0.7	0.3	40.8
	工 事 負 担 金	1.0	0.7	0.3	42.9
	そ の 他 収 入	0.0	0.0	—	—
	合 計 (A)	187.6	181.4	6.2	3.4
支 出	建 設 改 良 費	224.6	204.5	20.1	9.8
	処 理 場 建 設 費	34.4	21.8	12.6	57.8
	ポ ン プ 場 建 設 費	18.4	11.5	6.9	60.0
	汚 水 幹 枝 線 布 設 費	90.3	82.9	7.4	8.9
	雨 水 幹 枝 線 布 設 費	18.5	30.9	▲12.4	▲40.1
	流 域 下 水 道 事 業 費	1.7	1.7	0.0	0.0
	処 理 施 設 等 整 備 費	61.3	55.7	5.6	10.1
	基 金 へ の 積 立	0.0	0.0	▲0.0	▲33.3
	企 業 債 等 償 還 金	96.4	119.1	▲22.7	▲19.1
	予 備 費	0.3	0.3	—	—
	合 計 (B)	321.3	323.9	▲2.6	▲0.8
収支差引(A) - (B)		▲133.7	▲142.5	8.8	—

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 133.7億円は、損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

(5) 主要施策の概要(税込額)

(単位:百万円)

事 項	予算額	収益的支出	資本的支出	説 明
1. 安心で快適な市民生活と社会活動を支えます				
(1) 污水管きよの改築更新の加速	6,733	—	6,733	・污水管きよの改築更新(45km/年)
(2) 西部処理場北系整備	2,902	—	2,902	・西部下水処理場北系水処理施設の築造工事
(3) ポートアイランド処理場改築更新	26	—	26	・改築更新や更新後の運転管理において民間活力を導入するにあたっての事業者選定業務の実施
				<p>西部処理場北系整備 計画処理能力: 50,000m³/日</p> <p>既設1系 処理能力: 80,000m³/日</p> <p>西部処理場</p>
2. 浸水に強い安全なまちづくりを進めます				
(1) 浸水対策事業の促進	945	—	945	・東川崎地区におけるポンプ場・雨水幹線の整備 ・低地盤地区等における雨水幹線等の整備
(2) 魚崎ポンプ場改築更新	1,670	—	1,670	・魚崎ポンプ場の改築更新
(3) 宇治川ポンプ場の延命化	263	—	263	・宇治川ポンプ場の延命化
				<p>魚崎ポンプ場改築更新 計画排水能力: 41.0m³/秒 (既設排水能力: 35.7 m³/秒)</p> <p>魚崎ポンプ場</p> <p>東灘処理場</p>

(5) 主要施策の概要(税込額)

(単位:百万円)

事 項	予算額	収益的支出	資本的支出	説 明
3. 健全な水環境と循環型社会の 実現に貢献します				
(1) 東灘処理場消化ガス有効活用	17	—	17	・民間活力を導入した消化ガス有効活用方法についての事業化実現可能調査の実施
(2) 下水道資源の有効活用	261	261	—	・下水道資源の発電等への活用
4. 市民に見える下水道を 目指します				
(1) 水インフラに関する国際貢献事業	3	3	—	・地元企業等の海外展開の支援 ・ベトナム国キエンザン省における下水道事業化に向けた人材育成プログラム(3年間)の実施
(2) 広報強化策の展開	11	11	—	・区ごとのデザインマンホールの設置 ・「下水道の日」イベントの実施 ・各水環境フェア、処理場見学の実施 ・こうべアクアサポーター・こうべアクアパートナー制度
<div data-bbox="223 1079 637 1156" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;"> 第3回マンホールデザインコンテスト 最優秀作品(東灘) </div> <div data-bbox="223 1128 798 1516" style="text-align: center;"> </div>				
5. 持続可能な下水道サービスを 提供します				
(1) 下水道ストックマネジメント計画策定	18	—	18	・施設の計画的な維持管理と改築更新により機能保全を図るため、計画を策定

1 施設等の改築更新事業について

(1) 西部処理場北系整備 (令和元年度事業費：2,902百万円)

昭和40年に供用を開始した西部処理場は、耐用年数である50年を超過し、施設の老朽化が進んでいることから、西部処理場1系の代替施設となる北系水処理施設等の築造工事を実施する。



(2) 魚崎ポンプ場改築更新 (令和元年度事業費：1,670百万円)

昭和37年に供用を開始した魚崎ポンプ場は、耐用年数である50年を超過し、また、阪神・淡路大震災により、躯体の劣化が著しいことから、改築更新を実施する。

改築更新については、設計施工一括発注方式（DB方式）を採用し、現ポンプ場を供用しながら段階的に新ポンプ場に切り替え、令和14年度までに建設する。

(3) ポートアイランド処理場改築更新 (令和元年度事業費：26百万円)

昭和55年に供用を開始したポートアイランド処理場において、耐震性の確保及び老朽化した電気・機械設備の改築更新のため、1期側用地にある水処理機能を2期側用地の施設へ移転する。令和元年度は、改築更新や更新後の運転管理において民間活力を導入するにあたり、事業者選定業務を実施する。



2 浸水対策について（令和元年度事業費：945 百万円）

台風による高潮位が原因で浸水被害が発生した東川崎地区において、ポンプ場及び雨水幹線の整備等の浸水対策を推進する。また、全市において、高潮時に内水圧がかかる雨水幹線の調査を行い、構造強化など必要な対策を実施する。

西河原地区（西区）など、特に浸水の危険性の高い低地盤地区等においては、浸水被害の低減を図るため、引き続き雨水幹線等の整備を行う。

3 東灘処理場消化ガス有効活用について（令和元年度事業費：17 百万円）

国の実証事業として東灘処理場で実施している消化ガスを精製し都市ガスとして供給する事業は、令和2年度末に終了予定であるため、東灘処理場全体における消化ガスの最適な利用の方向性について検討を行っている。令和元年度は、民間活力を導入した消化ガス有効活用方法について事業化実現可能性調査を実施する。

4 下水道ストックマネジメント計画の策定について（令和元年度事業費：18 百万円）

高度経済成長期に集中的に整備した下水処理場・ポンプ場・管きよ等の老朽化が進行しており、今後耐用年数を迎える施設が急激に増加することから、施設の計画的な維持管理と改築更新による機能保全のため、下水道ストックマネジメント計画を令和元年度に策定する。

5 下水道経営についての検討及び広報について（令和元年度事業費：11 百万円）

下水道施設の改築更新事業の本格化及び使用水量の減少等を背景に、今後の下水道事業の経営と下水道使用料制度のあり方について、上下水道審議会での審議等も踏まえ、引き続き検討を行う。あわせて、市民及び事業者の関心と理解を深めるため、区ごとのデザインマンホールの設置や、「下水道の日」イベントの開催等、引き続き下水道事業の広報を実施する。